
『俺の生きる意味』

masa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『俺の生きる意味』

【Nコード】

N4992D

【作者名】

masa

【あらすじ】

俺の生きてる理由って??俺は彼女さえいてくれれば、それでよかった。でも彼女はある日、俺に対して冷たくなった。

俺の生きてる理由ってなんだろう。
ただ同じような毎日を過ごして、変わりもしない人に囲まれて。
そんな空虚な世界を生きている。
でも、それが当たり前。世の常。

今日も仕事が終わりに、俺は彼女の所へ向かった。
彼女は、いつもと変わらずそこにいた。
いつか、彼女がこんな事を言っていた。

『あなたは、いつも笑っていてね。それだけで、私は幸せだから。』

でも、最近は彼女に笑顔を見せていない。
それどころか、会話すらしていない。
話し掛けるが、返事すらしてくれないんだ。
それでも俺は、彼女に話し掛ける。

「今日は、すごく気持ちのいい天気だったな。」

いつものように、彼女は無言で聞いていた。
いや、聞いているかさえ分からない。

「小春日和ってやつかな。」

それでも俺は続けた。だが、やはり返事すらない。
これも含め、俺の当たり前。

「じゃあ、今日はもう帰るな。仕事がたまってるんだ。」

そう言っつて、俺は部屋を出た。

誰だっつてこんな状況が、1年続けば慣れるもんだ。

でも俺は、彼女とは別れない。

きつとまた、笑顔で会話できる日が来ると信じているから。

俺は毎日、彼女の部屋へ行った。だが、彼女は相変わらず返事すらくれない。

その代わりに、『帰れ』とも『来るな』とも言わなかった。

そんなある日。

「ねえ。起きてよ。」

俺は、誰かに揺さ振られていた。

気づかぬ間に、彼女の部屋で寝てしまったようだ。

目を開けると、そこには彼女がいた。

「お……お前、起きたのか?!」

「何、言ってるのよ。寝てたのは君でしょ。」

彼女は返事をしてくれた。

「そ……そうか。っつていや、違う!……どつでもいや!……」
そう言っつて、俺は彼女に抱きついた。

「どつしたのよ急に。」

彼女は、困惑した顔をしていた。

「もういいんだ。なあ、今の俺は笑顔か??」

俺は泣いた顔をして、彼女に訴えた。

「いや、しつかり泣き顔よ。」

「あはは。そくだよな。俺！笑顔になれ！！」
俺は、自分に言い聞かせる様に言った。

「どうしたの??今日の君は、少しおかしいよ??」

「あはは。おかしいよな。でも……涙が止まらないんだ。」
俺は、涙を拭いながら言った。

「あはは。変なの。でも、私幸せだよ。ありがとう。」

気がつけば、もう外は暗かった。
俺は、いつもの世界に戻っていた。

「夢……か。」

そう言っただ俺は、涙をぬぐった。

「でもな、もう俺……大丈夫だよ。俺は、生きる意味を見つけたよ。
お前に笑顔を見せて、お前を一生幸せにしてやるよ。
だから俺、待ってるよ。」

お前が、目を覚ますその日まで。いつまでも。」

俺はそう言って、彼女の寝ている病室を後にした。

(後書き)

誤字脱字や、知識不足による、日本語の間違えなどもあるかと思えます。

その点を先に、お詫び申し上げます。

ともて短い小説を、ちよつと書いてみたくなつたので、書いてみました。

短い中に、どれだけのメッセージを入れられるかがむ難しかったです。つて、言えるほどメッセージは入ってないんですけどね。暇つぶし程度になっていただけたのであれば、幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4992d/>

『俺の生きる意味』

2010年10月9日07時02分発行